



■歯科医長 角南 次郎

◇口腔の健康は全身の健康の維持増進にとって大変重要です。

はじめに

当院本館の3階に歯科があり、歯科医師2名 歯科衛生士4名 歯科技工士1名で外来患者および入院患者の歯科診療・口腔管理を行っています。

外来診療では、むし歯や歯周病、義歯などの一般歯科治療に加えて、全身疾患を有する方の歯科治療(有病者歯科治療)および口の中の手術や顎関節疾患、口腔粘膜疾患などの

口腔外科疾患の治療を専門に行っています。

また、入院患者に対しては、各診療科主治医等と連携して医療の質の向上を目的とした周術期等口腔機能管理や全身状態が重篤な方への専門的な口腔管理を病棟看護師と歯科衛生士の連携により重点的に取り組んでいます。

当科の診療の特色

■有病者歯科治療

虚血性心疾患や心房細動などで抗血栓薬を服用されている患者さんの抜歯では、抜歯創の縫合処置を行うなどして抜歯後出血を予防しています。

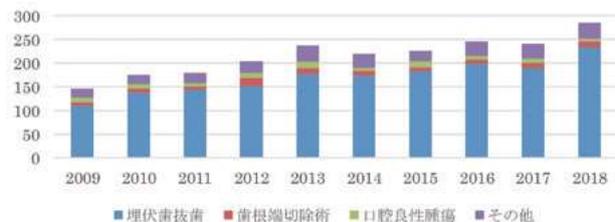
人工弁置換術後や先天性心疾患、感染性心内膜炎などの既往のある患者さんは、観血的な歯科治療によって心内膜炎を生じやすいため治療前に抗生剤の投与を行ってから治療を開始しています。

透析をされている患者さんでは、抜歯などの観血的処置は非透析日に実施し、侵襲の大きい外科処置の場合は主治医と相談して手術後に局所へパリン化法による透析をお願いするなど配慮しています。また、術後の抗生剤も減量するなど過剰投与にならないよう注意しています。

歯科恐怖症の患者さんには、フルニトラゼパムによる静脈内鎮静法を行って歯科治療しています。

■口腔外科治療

近隣の歯科医院からご紹介いただき、局麻での口腔外科手術を行っています。



過去10年間の口腔外科手術

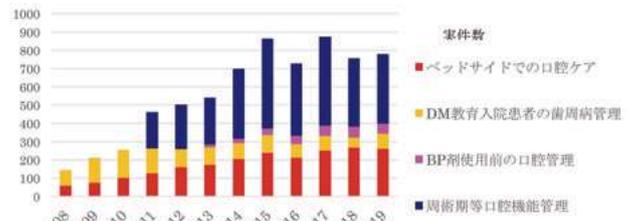
手術内容は埋伏歯の抜歯術が圧倒的に多く、ほぼ毎日実施しています。その他には外傷による口唇裂傷の縫合術や歯槽骨骨折の整復固定術、義歯作製前の歯槽骨隆起の削除術、歯槽骨炎の不良肉芽の掻爬術、口唇粘液嚢胞の切除術などが含まれます。

■周術期等口腔機能管理

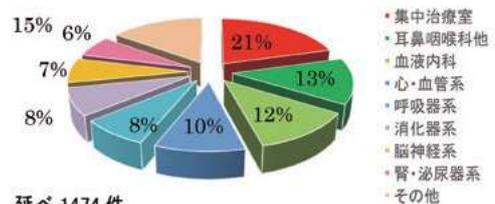
手術後の感染症予防や医療の質の向上を目的に下記の項目について医科歯科連携のもと専門的な口腔機能管理を推進しています。

- 1、全身麻酔下で実施される手術及び放射線化学療法
 - ①心臓血管外科手術
 - ②臓器移植手術
 - ③頭頸部領域・呼吸器領域・消化器領域等の悪性腫瘍の手術
 - ④脳血管外科手術等
- 2、造血幹細胞移植
- 3、緩和医療

特に今年度より「がん患者の周術期医科歯科連携チーム」が副院長をリーダーとして立ち上げられ今後4年間にわたり5大がんの周術期管理を充実させ、今まで以上に患者の医療の質の向上を図っていく予定です。



内容別の専門的口腔管理の12年間の推移(医科からの紹介) その中でも、ベッドサイドでの専門的な口腔のケアは病棟看護師との連携・協力が基盤となっています。



調べ 1474 件

内容別の専門的口腔管理の12年間の推移(医科からの紹介)



*看護師と連携・協力での口腔ケア

(症例)

口蓋～咽頭部、舌背に乾燥痰等が多量に固着。舌の動きも悪く口腔機能低下あり。適切な口腔のケアで嗜好食の摂取や簡単な会話も容易になった



歯科介入前



介入10日後

(症例)

嚥下障害あり経管栄養と昼1回のミキサートロミ食摂取中。強い乾燥と汚染や口臭あり。適切な口腔のケア継続で口腔内環境は改善し誤嚥性肺炎も予防できた。



歯科介入前



介入1週間後

■院内チーム活動・病棟ラウンド・集団指導

緩和ケアチーム・人工呼吸器サポートチーム・栄養サポートチーム等にも歯科衛生士が参加し、週1回の各チーム会議(カンファレンス)や病棟ラウンドを多職種と行い、口腔と全身に関連するさまざまな問題点に対応しています。

また、院内で下記の項目内容について、関連職種との連携をもとに集団指導も積極的に行っています。

- ①糖尿病教室での『糖尿病と歯周病の関連』についての講話とセルフケア方法(月2回)
- ②母親学級(妊産婦指導:妊娠中期・後期)「母子の口腔衛生について」講話 (月2回)
- ③わいわいサークル(母子対象)「虫歯予防について 乳歯・永久歯についてなど」(年2回)
- ④ほのぼの教室(がん患者とご家族の方のサロン「口腔ケアについて」)(年1回)



ワイワイサークルにて



糖尿病教室での風景

歯科スタッフ紹介

- 歯科医師 角南次郎 (日本歯科麻酔学会認定医、日本有病者歯科医療学会専門医)
- 山近英樹 (日本口腔外科学会指導医、日本口腔科学会指導医)
- 歯科衛生士 松尾敬子 (日本歯科衛生士会 摂食嚥下リハビリテーション認定歯科衛生士・糖尿病予防指導認定歯科衛生士)
- 田中早苗
- 松本真桜
- 八幡 恵
- 歯科技工士 藤森香苗



おわりに

口腔の健康は全身の健康の維持増進にとって大変重要です。日常生活の中でライフステージに応じた口腔疾患の予防を行い、その中で必要となった治療や専門的なケアを受けながら口腔環境を整えていくことが大切です。

さらに、高齢に伴う口の機能低下も予防し、いつまでも安全

においしく食べられることが生きる意欲や生活の質を高めます。

また、たとえ食べられなくなったとしても、人としての尊厳を最後まで支えられるような全人的な口腔のケアを私たちは実践していきます。

今後もよろしくお願いいたします。